

# 一宮高 同窓会報

いちのみや  
創立 1919

愛知県立一宮高等学校同窓会事務局  
一宮市北園通り6の9  
TEL 080-7075-2147  
FAX 0586-73-1083  
2025年9月17日発行

NO. 36

事務局へのお問い合わせについて  
一宮高校同窓会事務局へのお問い合わせは、080-7075-2147まで  
よろしく願いたします。



副会長挨拶

佐々憲一

一宮高等学校同窓会会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また日頃は本会運営に対し多大なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、本会会長を務めておりました猪子誠児様が、令和7年3月21日にご病気のためご逝去されました。ここに生前のご厚情に深く感謝いたしますとともに、謹んでお悔やみ申し上げます。

猪子会長は令和5年より本会会長に就任されて以来、多大なご尽力を賜り、本同窓会の発展に寄与されたその功績は枚挙にいとまがありません。私たち役員一同、猪子会長のリーダーシップと温かいお人柄に支えられ、常に力強く導いていただきました。それだけに今回の訃報に接し、深い悲しみと喪失感を禁じ得ません。本来であれば、猪子会長が皆様に令和7年度のご挨拶を申し上げるべきところではございますが、それができませんので、役員を代表し、副会長であります私が代わってご挨拶させていただきます。次第です。

私たち役員一同、猪子会長のご遺志を引き継ぎ、今後も変わらず、会員の皆様との親睦を深めますとともに、母校そして現役の生徒の皆さんのために微力ながら貢献していく所存です。つきましては猪子会長が築きあげられた礎の上に、より一層同窓会の活動を充実させていくべく努めてまいりますので、会員の皆様におかれましては引き続き温かいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、猪子会長のご冥福をお祈り申し上げますとともに、会員の皆様のご健勝ご活躍を心より祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

母校校長

松原 正明



前任の阿部校長のあとを受け、本年度より校長を務めております松原です。どうぞよろしくお願ひいたします。同窓会会員の皆様には、日ごろから本校の発展のために、物心両面からのご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年度は、正門付近に「スピードランプ」を設置していただきました。これは、一時停止を促すために駐車場等に設置されるかまぼこ形の突起物です。正門付近で自動車や自転車がスムーズに減速するようにになりました。一昨年度ご支援いただいたロータリーの白線・矢印とともに、生徒の安全性が大きく向上しています。厚くお礼申し上げます。また、定時制の部活動の全国大会出場の際の遠征費の一部もご支援いただきました。お陰様で生徒はもてる力を十分に発揮し、特に女子柔道部は、団体で全国優勝を果たしました。重ねてお礼申し上げます。

さて、学校の近況ですが、今春の進学実績においては、東京大学、京都大学、名古屋大学をはじめとする難関大学や、国立大学医学部医学科に多くの生徒が合格しております。ファッション創造科の生

徒は、6年連続で「着物作品コンテスト」において、文部科学大臣賞を受賞しました。部活動でも、県大会に出場する部が続出しています。

また、この春に入学した1年生から、新しい制服が導入されました。現在は、旧制服の2、3年生に新制服の1年生がまじって、新鮮な雰囲気を出しています。時間をかけて審議してきた新制服は、地元の尾州織の生地を使用したスーツスタイルの制服です。上下の色や素材が異なるブレザースタイルとはひと味違った、伝統校としての品格を感じさせるデザインとなりました。ストラックスを選ぶ女子生徒もちらほら見受けられます。同窓生の皆様も、是非一度母校にも足を運んでいただき、感想などお聞かせください。

このほか、令和8年4月に本校の校地に、県立の夜間中学校「いちのみや中学校」が開設されます。様々な理由で義務教育を十分に受けられなかった人などが対象とすることで、現在、県教育委員会を中心に準備作業が進められています。一宮高校に新たなファミリーが誕生いたしますので、見守っていただければ幸いです。

今後、私たち職員は、皆様の後輩たちの健全な成長のために尽力して参ります。ぜひとも、これまでと変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

# 運営

## 同窓会役員 (R7.4.1)

会長 故 猪子 誠兒 (高22回・昭45年卒)

副会長兼関東支部長 後藤 益男 (高30回・昭53年卒)

副会長 伊藤 幸一 (高26回・昭49年卒)

関戸 徹 (高28回・昭51年卒)

杉山 義幸 (高37回・昭60年卒)

佐々 憲一 (高42回・平2年卒)

伊藤 葉子 (高44回・平4年卒)

監督 折倉 勲 (高37回・昭60年卒)

加藤 亘 (高40回・昭63年卒)

松原 健午 (高49回・平9年卒)

奥原 洋子 (母校事務)

当番幹事代表 柴垣 幹夫 (高36回・昭59年卒)

飛田 秀樹 (高36回・昭59年卒)

松本 忠司 (高36回・昭59年卒)

納入のお礼、運営費クレジット決済サイトの運用について

毎年、同窓会運営費の納入にご協力いただき、誠にありがとうございます。

ご協力をいただく際の振り込み方法について、郵便局やコンビニエンスストアでのお振り込み、またはパソコンやスマートフォンなどでのクレジット決済サイト

トでのお振り込みとなります。よろしくお願ひいたします。

## 同窓会報のお届けについて

毎年7月末までに運営費を納めていただいた方と、幹事学年(高校36回)・来年度再来年度幹事学年(高校37回・38回)・表彰学年の方に同窓会報をお届けしています。お近くの同窓生の方に会報が届いていない方がみえましたら、本校HP内同窓会ページをご覧になって手続きをされるようにお伝え願えれば幸いです。よろしくお願ひいたします。なお、周年号(5年毎、次回は第39号)については全会員にお届けします。よろしくお願ひいたします。

次の皆様より同窓会に寄付をいただきました。

・高校第16回(昭和39年卒)

運営費会計に入れて活用させていただきます。ありがとうございました。

## 運営費納入状況

令和6年度運営費総計			
中	学	6	¥12,000
真	澄	8	¥16,000
高	校	1,330	¥2,741,000
定	時	34	¥68,000
一	般	3	¥6,000
総	計	1,381	¥2,843,000
令	和 5 年 度	1,619	¥3,329,000

## ★運営費の納入をぜひお願いします!

**吹奏楽部からのお願ひ**

いつも応援していただき、本当にありがとうございます。おかげさまで、近年連続して県大会に出場させていただくことができいております。4月の定期演奏会におきましても、たくさんの方にご来場いただき、またご支援をいただき、部員一同深く感謝いたしております。

学校所有の楽器の老朽化につきましても、おかげさまで改善の方向に進んでおりますが、まだ深刻な状況にあります。楽器をお譲りしていただける方がいらっしゃいましたら、吹奏楽部顧問までご連絡いただけると幸いです。よろしくお願ひいたします。

## 卒業60年になる同窓生の方には記念品贈呈

### 総会出席の

昭和41年卒、高18回生  
・定15回生が対象です。

本年は、主に昭和22年4月～23年3月生まれの方が該当学年です。

## アメリカで挑戦する、 勉強と陸上の二刀流

樋口 諒

(高校75回(令和5年卒))

一宮高校卒業後、現在はアメリカ・カンザス州のカンザス大学に在学し、陸上競技部に所属して中長距離に取り組み、専攻はビジネス。

高校時代は3年時に陸上競技800mでインターハイに出場し準決勝に進出。JOCジュニアオリンピックカップU18大会では同種目で3位に入賞した。大学進学後は昨年のU20日本選手権1500m優勝、今年のBig12室内選手権ではショートトラック1000mの日本記録(2分21秒51)を樹立した。



一宮高校を2023年に卒業した後、私はアメリカのカンザス大学に進学しました。大学では会計学を専攻しながら、陸上競技部に所属しています。大学生活はすでに2年が過ぎましたが、挑戦と学びに満ちた刺激的な毎日を送っています。

### 『アメリカへの道』

海外進学を決断したのは、高3の夏。進路に迷っていたとき、学校を通じて留学代理店の方から届いた「アメリカスポーツ留学」のパンフレットがすべての始まりでした。そこには「アメリカの大学でスポーツに打ち込みながら学位を取得できる」という情報が載っており、まさに私が目指していた勉強と陸上の両立が叶う環境がそこにありました。インターハイを直前に控えた時期でもあり、陸上、勉強の両方で自分の可能性をもっと広げたいという思いが強くなっていたこともあり、「これしかない」と直感的に決断したのを覚えています。「アメリカで陸上をやってみよう」と英語を使って世界に出たい——そんなシンプルでまっすぐな思いに背中を押され、私は迷うことなく進路をアメリカに決めました。もちろん、海外での生活には不安もありましたが、英語については高校の授業で単語やリーディングにしっかりと取り組んでいたおかげで、留学準備も比較的スムーズに進めることができました。

### 『異国での第一歩』

実際に渡米してからは、言語の壁や文化の違いに何度も直面しました。現地の学生と同じ授業を受ける中で、自分の意見を発言することや、課題を期限内に仕上げることが苦勞しました。生活面で



も、文化や価値観、日々の習慣など日本とは異なることばかりで、毎日が新しい発見と試練の連続でした。右も左も分からない状態で、英語しか通じない環境に身を置くことは、大きなストレスでもありました。そんな中で意識していたのが「郷に入れば郷に従え」です。私の場合、部活のチームメイトと過ごす時間が長かったため、まずは彼らの行動を徹底的に真似ることから始めました。食事や休日の過ごし方、観る映画や聴く音楽、さらには英語の話し方や言い回しまで、できる限り吸収しました。その積み重ねのおかげで英語力は着実に伸び、文化にも自然に馴染むことができました。

陸上競技部では、800mと1500mを専門に取り組んでいます。専属コーチの指導、屋内外のトラック、シューズ提供や食事補助など、まるでプロ選手のような環境とサポートが整っています。平日は午前中に練習、11時以降か

ら授業というスケジュールで、競技にも十分な時間を確保できません。入部当初は走行距離の増加やタイトな試合日程に慣れるのが大変でしたが、それらを乗り越える中で確かな成長を実感できるようになり、U20日本選手権1500m優勝やショートトラック1000m日本記録更新という成果を挙げることができました。

### 『不利な環境で生きること』

大学進学を機に、私は初めて海外へと飛び出しました。そこで直面したのは、自分が「不利」と感じようような環境です。日本にいるときは勉強もそつなくこなせ、家では家族が食事を用意してくれるなど、不自由を感じることはほとんどありませんでした。しかし海外では、自分が外国人として現地社会に適応しなければなりません。周囲から対等に見てもらいために、英語を本気で学ぶ必要がありました。

日常生活も決して容易ではありません。車がないと苦勞し、車を持つ友人に頼んだり、自分でバス路線を調べたりしてようやく出かけられるという状況です。こうした不利な環境は、常に重圧や不安を伴いますが、その中でこそ自分の底力や成長の幅を知ることができます。言葉や文化の壁を乗り越えた経験は、必ずこれからの人生の糧になる

と信じています。

競技者としても、私はまだ多くの目標を持っています。日本選手権や全米学生選手権への出場、さらには国際大会への挑戦。そのような舞台で走る姿や陸上を通して広がる世界を見てもらい、その中で感動や希望を届けたいと強く思っています。

そしてもう一つ、私が強く伝えたいのは「海外進学という道が誰にでも開かれている」ということです。スポーツをしなくても、アメリカやその他の国の大学に進学することは可能です。国内の進路で思い悩む高校生たちに、海外進学という選択肢を知ってもらい、少しでも自分の可能性を広げてもらえたらと願っています。

最後になりますが、一宮高校で過ごした3年間があったからこそ、私は自信を持って海の向こうへ踏み出すことができました。先生方、そして仲間たちに、この場を借りて心より感謝申し上げます。



Instagram: ryo\_higuchi\_  
Note: [https://note.com/ryo\\_higuchi\\_](https://note.com/ryo_higuchi_)

# 令和6年度総会開催

- ◎令和6年度第1回役員会・幹事会  
令和6年6月6日(木) クラシックホテル  
役員会参加者15名・幹事会参加者38名
- ・令和5年度事業報告並びに会計報告
- ・令和6年度事業計画
- ・令和6年度役員について

- ◎令和6年度第2回役員会  
令和6年10月10日(木) 桃陵館  
役員会参加者21名
- ・令和6年度同窓会総会について



11月2日(土)、同窓会総会がiビルシビックホールを会場として開催されました。スローガン「まだまだ!!これから」を掲げ、高校35回生の「尽力により、約170名の参加者で、盛大に開催されました。」

総会は式次第に沿って、伊藤葉子副会長の司会で進められ、伊藤幸一副会長による開会の言葉と物故者追悼、猪子誠児会長の挨拶、阿部孝広母校校長の挨拶に続き、来賓を代表して須賀藤隆元母校校長による来賓挨拶を賜りました。議事に

入り、松原健午会計による会計報告、栃倉勲監査による監査報告に続き、役員紹介を行いました。次に同窓会事務局から運営費の納入状況の報告と、卒業60年の方への記念品贈呈について説明しました。記念品贈呈については昨年度は総会参加者が無かったのですが、今年は7名の方が参加されました。代表の原卓郎様に記念品を贈呈しました。最後に、伊藤幸一副会長による閉会の言葉で総会を閉じました。

続いて、講演会にうつりました。高校35回生の村手聡様から講演をしていただきました。村手様は東京大学を卒業後に自治省に入省され、総務省、内閣官房参事官、審議官、岡山副市長、群馬県副知事など歴任し、現在は愛知名古屋アジア・アジア・パラ競技大会組織委員会事務局長をされています。その間、東日本大震災復興対策担当や内閣府の防災担当、デジタル田園都市国家構想実現会議事務局事務総長など



され、国家レベルで様々な場面活躍されてきました。講演の演題は「来たるアジア・アジア・パラ競技大会」新しい時代を拓くために」でした。自己紹介として、これまでの赴任先に触れながら、2026年、愛知県において「アジア・アジア・パラ競技大会」が開催される意義や価値について、楽しく、力強く語ってくれました。この大会は、32年ぶりの自国開催であり、オリンピック・パラリンピックに次ぐ大規模な国際総合競技大会として、トップアスリートが躍動する姿を直接感じてもらう絶好の機会であること、とりわけアジア・パラ競技大会の開催は、パラスポーツを通じた其生社会の実現等に貢献するものでもあることなどを語ってくれました。このような愛知名古屋大会の重要性に鑑み、日本オリンピック委員会及びパラスポーツ協会では、愛知・名古屋大会をロサンゼルスオリンピック・パラリンピック大会に向けた重要なマイルストーンと位置付け、各中央競技団体とともに総力を挙げて選手強化などを行うなど必要な取り組みを進めているそうです。また、アジア競技大会のコンセプト「アスリートセンター」の視点・既存施設の活用・先端技術の駆使・伝統と県民・市民性に触れるおもてなしや竣工が待たれる名古屋市瑞穂公園陸上競技場、愛知国際

アリーナの完成予定図、ボランティア募集、チケット販売など2026年までの取り組みなどを紹介していただきました。講演の途中には、大会マスコットのホノホンとウズミンが登場し、会場を盛り上げてくれました。同期の星のますますの活躍を、と司会が結びました。

講演会後には、懇親会も実施し、和やかな雰囲気の中、恩師の先生方や旧知の皆様との懇談に花が咲いていました。また、懇親会後には同会場にて学年懇親会も行われ、恩師を含めて110名程の参加があり、笑顔あふれる様子が見られました。

最後に、相変わらず先行き不透明な状況下、物価高騰など難しい判断を求められる中で柔軟に対応し、総会実施のために「尽力くださいました高校35回生の皆様、並びに関係の方々」に厚く御礼申し上げます。



## 一宮空襲の経験

2回目の一宮空襲と戦後

講師：森 靖雄  
(高6回・昭和29年卒)

2025年8月1日(金)に桃陵館にて、一宮高校地歴公民科ワークショップとして、本校卒業生である森先生にご講演いただきました。

森先生は、1945年7月27日夜から28日早朝の空襲(2回目の一宮空襲)の時、一宮の本町通り在住で、第四国民学校(現大志小学校)の4年生、当時の情勢や一宮空襲直前の暮らしの状況、空襲当日のお話、空襲後の生活のお話をしてくださいました。「警戒警報」が発令されると集団帰宅となり、解除されると再度集まって登校するという生活で、空襲が激化した5月初めから学校は休校となったそうです。一宮空襲の日付も定かではなかったほどの混乱の中、終戦後、11月初めから学校が再開され、教科書が燃えてしまつた子と共有したり、授業で「教科書への墨塗り」を行い、自分で教科書を製本したりしたお話などを、生徒たちは真剣に聞いていました。

高校時代には、物化部天文班、新聞部、印刷部、バレー部に所属し、卒業後も天文班のみんなと最初の人工衛星観測の国際チーム「JAPAN21」(日本には25チーム編成された)を編成して活動できて楽しかったと話されました。森先生にとっては70年以上前のことですが、目の前に思い浮かぶように話されているのが印象的でした。

講演後、生徒から「若いうちにやっておいた方がよかったです」と質問があると、「高校時代は好奇心にあふれ、可能性にあふれています。今が一番やりたいことがやれる時です。それぞれ持っている種を今のうちに少しでも大きくしておくといいですよ」と話してくださいました。貴重なお話をありがとうございました。

# 第24回関東支部総会

「過去最多200名の同窓生が集結！  
笑顔と感動あふれる一日」

実行委員長 木下 昌浩（昭和58年卒）

令和7年4月13日（日）、アルカディア市ヶ谷にて第24回同窓会・関東支部総会を開催しました。当日はあいにくの空模様ではありましたが、過去最多となる200名の同窓生の皆様にご参加いただき、会場は再会を喜ぶ笑顔と熱気に包まれました。「お久しぶり！」と旧交を温める姿があちこちで見られ、まさに「同窓会の醍醐味」を随所に感じる一日となりました。

第一部の総会は、後藤支部長による挨拶の冒頭、直前にご逝去された本部同窓会長・猪子誠兒様への黙祷から厳かに始まりました。続く来賓挨拶では、本部副会長・佐々憲一様、4月に着任されたばかりの松原正明校長から、母校の近況や励ましのお言葉を頂戴し、会場から温かな拍手が送られました。議事もスムーズに進行し、前年度の活動・収支報告、令和7年度の事業計画、予算・役員案などすべて承認されました。

第二部の講演会では、昭和58年卒のHEAD Japan株式会社代



集合写真(左から 筧副支部長 堀尾前副支部長 後藤支部長 佐々副会長 松原校長 森田前支部長 小島事務局担当幹事 木下実行委員長)



講演写真 中央が講演中の久保英二さん



盛り上がるじゃんけん大会

表取締役の久保英二さんを講師にお迎えし、「好きなものを仕事にしたらどうなった？みんなと少し違う人生のお話」と題してご講演いただきました。ビデオも投影しながらスキーへの情熱、海外での体験、そして支えてくれたご家族への思い等をユーモアを交えて語られ、参加者の心に深く響きました。  
ご夫人からの温かなメッセージ

ジにも胸を打たれ、アンケートにも「感動した」「勇気をもらった」「刺激を受けた」との多くの声が寄せられました。  
第三部の懇親会では、ミュージカルなどで活躍されている鈴木ほのかさんにサプライズでご挨拶をいただき、会場が一気に華やぎました。続いて筧副支部長の乾杯で交流タイムがスタートし、笑顔と笑い声が会場いっぱいになりました。恒例のテーブル対抗じゃんけん大会や、地元・一宮にちなんだクイズ大会も大盛り上がり。世代を超えてつながる楽しさを改めて感じました。胸の名札を見ながらの自己紹介や近況報告に花が咲き、名残惜しさすら覚えるひとときとなりました。  
終盤の校歌・応援歌斉唱では、

音響トラブルによる伴奏停止というハプニングもありましたが、逆に参加者全員のアカペラによる力強い歌声が響き渡り、母校への想いが一つになる感動の時間となりました。中締めでは、次回の実行委員長に就任された昭和59年卒・古田充弘さんが紹介され、来年への期待も高まるなか、総会は盛況のうちに閉会しました。



## 次回第25回関東支部総会・懇親会の御案内

【日時】2026年(令和8年)4月12日(日)  
12時開会(受付開始 11時30分～)  
【場所】アルカディア市ヶ谷 私学会館  
【会費】8,000円(予定)  
【案内】2026年(令和8年)2月予定

実行委員会を中心となり、次回と同窓会関東支部の総会懇親会の準備をいたします。  
多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

## NHK朝ドラ『ばけけ』 9月29日放送開始

村橋 直樹さん  
(平成10年卒) 演出  
今回のドラマは、小泉八雲の妻ハツさんをモデルとした創作ドラマです。主演は若手の女優高石あかりさん。詳しくは、NHKのHPをご覧ください。

村橋さんは、大河ドラマ『どうする家康』の演出もされました。また、昨年の関東支部総会でこのドラマの演出秘話や演出家も目指したきつかけなど大変興味深い講演をいただきました。村橋さん演出で「えびすくい」を参加者が楽しく踊りました。

同窓生演出のドラマを是非ご覧ください。

# 母校だより

## ■全日制

「質実剛健」と「文武両道」の精神のもと、生徒は高い志をもって何事にも粘り強く取り組んでいます。また、本年度入学生から新制服となり、学校の雰囲気も少し変わりました。

総合体育大会では、昨年度は尾張支部で女子が総合優勝、男子が総合準優勝、今年度は男子、女子ともに総合優勝を果たしました。

団体では、弓道部女子・ソフトテニス部女子・体操部男子が優勝したほか、剣道部男子・卓球部男子・バレーボール部男子・ラグビー部・サッカー部と多くの部が県大会に出場しました。個人でも、優勝をはじめとした好成績を収め、県

大会に出場しています。さらに水泳部が東海大会に出場することとなりました。東海大会では、男子4×100mメドレーリレー全体15位、男子4×100mフリーリレー全体18位、男子100m平泳ぎ全体14位という結果でした。

文化部では、芸芸部が古文連文芸専門部作品コンクール散文部門において、第一席を受賞、7月末に行われる全国高等学校総合文化祭（香川大会）に出場します。書道部が応募した全国書道コンクールにおいて毛筆の部で優秀大賞を受賞、国立新美術館（東京）に展示されました。また、大会派遣という形で出場した将棋（女子）で、見事に県大会で優勝（全大会出場）の成績を収めました。

フアッション創造科は、「きもの作品コンテスト」において最優秀賞にあたる文部科学大臣賞を令和6年

度まで6年連続で本校生徒が受賞する快挙が続いています。その他にも、全日本きもの振興会会長賞や日本和裁士協会会長賞などの優秀賞も受賞しています。また、今年度はテレビやラジオの取材の依頼もあり、収録等が行われました。

SSH事業は、令和5年度から3年間の第V期（先導的改訂I期）申請が認められ、通算23年目を迎えています。引き続き、昨年度同様Society 5.0時代を切り拓くチェーンメーカーを育成するため、これまでのSSH事業で培った様々なプログラムを更に進化・発展させるとともに、ほかのSSH校や外部機関と協働して、新たな価値を創出する持続可能な教育システムの開発に取り組みむほか、全国で4校しか認定されていない第V期（先導的改訂II期）の認定に向けて準備を進めていきます。さらに、数学部

は神戸国際展示場で行われるSSH生徒研究発表会、地学部も大阪教育大学天王寺キャンパスで行われる第15回高校生天文活動発表会（SSH事業）に参加するなど、活発に活動しています。ほかにも、昨年度から始まった「板橋高級中學」との国際交流（交換留学・生徒交流）や従来からの文化講演会など、さまざまな行事が計画されています。一宮高校生がこれらを通して、チェンジメーカーとなることを期待しております。

## ■定時制

今年度の全校生徒数は、5月1日現在123名で、「基礎学力の定着」、「基本的な生活習慣を身に付ける」といった教育目標に則り、今年度も少人数編成を継続し、落ち着いた学習環境の中で、日々生徒は学習に励んでいます。

令和7年3月の卒業生は三卒5名を含む25名でした。進学者は6名で、4年制大学へ1名、各種専門学校へ5名の生徒がそれぞれ進学しました。就職は、14名の生徒が正社員となりました。

部活動は柔道部、バドミントン部、バスケットボール部が授業後の短い時間を大切に使用して活発に活動しています。第76回定通総合体育大会では、昨年度に引き続き、柔道部、バドミントン部が8月に行われる全国大会出場を果たすことができました。

学校行事も活発に行われており、昨年度の秋には、遠足や沖繩への

## 主な国公立大学入試合格者数

( )内は卒業生の内数

大学名	令和7年度 (77回生)	令和6年度 (76回生)
<国立大学>		
北海道大学	7 (2)	3 (1)
東北大学	1 (1)	3 (2)
北京橋大学	4 (2)	7 (1)
一橋大学	1 (1)	4 (1)
静岡大学	33 (8)	29 (7)
名古屋大学	4 (1)	3
愛知教育大学	77 (9)	71 (16)
名古屋工業大学	11	6
三重大学	20 (3)	13 (1)
滋賀大学	7 (1)	11 (2)
京都府立大学	3	6 (1)
大阪府立大学	22 (7)	20 (6)
神戸大学	4	7 (1)
広島大学	8 (3)	2 (1)
九州大学	4 (1)	4 (1)
国立医学部医学科	4 (1)	3 (3)
上記含国立大学総計	242 (54)	227 (58)
<公立大学>		
愛知県立大学	1	6
名古屋市立大学	20 (3)	18 (2)
上記含公立大学総計	39 (10)	31 (5)
<私立大学>		
慶應義塾大学	18 (14)	15 (7)
東京理科大学	36 (16)	39 (24)
明治大学	18 (16)	19 (8)
早稲田大学	24 (10)	21 (9)
南山大学	108 (14)	130 (13)
同志社大学	94 (29)	68 (19)
立命館大学	91 (42)	80 (26)
上記含私立大学総計	707 (284)	763 (193)

修学旅行、映画鑑賞会、生徒会主催の文化祭が実施されました。また、今年度も1学期までのところで、スポーツ大会やボウリング大会が開催され、クラスの親睦を深めています。

多数在籍している外国にルーツをもつ生徒に対する支援も積極的に行っており、タガログ語とネパール語の支援員、日本語教育の支援員による学習支援を行っています。

昨年度、本校定時制ウェブサイトを全面的にリニューアルしました。学校での様々な取り組みを積極的に発信してまいりますので、ぜひご覧ください。

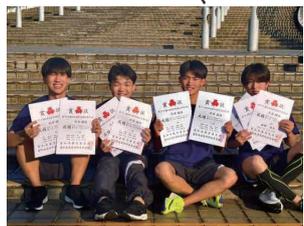
## ■マイクラブ水泳部

私たち水泳部は、自分たちでメニューを考えるなど、部員一人ひとりが主体的に、日々試行錯誤しながら練習に励んでいます。

令和7年6月28日（土）、29日（日）に開催された第72回愛知県高等学校総合体育大会で男子4×100mメドレーリレー、男子4×100mフリーリレー、男子100m平泳ぎの3種目で東海大会出場を決めました。7月18日（金）20日（日）に行われた東海大会では全国大会参加標準記録を突破することはできませんでしたが、ベストを更新した種目もあり、自分たちの持ち味を発揮することができました。

水泳部は経験者も初心者もいますが、経験の有無や実力に関わらず、お互いに助言や意識を高める

声掛けをしながら、高いモチベーションで練習をしています。昨年度に新チームが発足してからは県大会でも勝ち抜き、さらには東海大会でも勝負できる実力をつけることを目標に1年間努力を続けてきました。特に、私立高校とは違い、冬期に学校のプールが使えないことや、学校のプールも老朽化が激しく、スタート台などの設備が不足しているなど、環境面では大きなハンディキャップがあります。しかし与えられた環境の中で、いかに実力をつけるのか、部員たちで試行錯誤を重ねました。そして満足に泳げない冬期に温水プール等を活用したり、基礎的な陸上トレーニングをしたりする中で、シーズンに向けての基盤をつくることができました。東海大会出場を決めたときは、何とも言えない達成感や充実感がありました。



東海大会が終わり、これまでチームを率いてきた3年生が引退しました。東海大会に出場することは難しいことですが、連続して東海大会に出場できる真の実力を持ったチームをつくることはさらに難しいです。7月末から新チームが発足しましたが、新たな気持ちで、強く、そして魅力的なチームをつくるべく、引き続き努力をしていきます。

結びに、日頃の活動に對

**後輩の活躍**

し、ご理解ご支援をしていただいている多くのみなさまに厚く御礼申し上げます。

- 【令和7年度】**  
(7月までの県大会以上の成績)  
以下、「第79回愛知県高等学校総合体育大会」を「第79回県高校総体」と省略する。
- 【全日制】**
- 弓道部**  
(男子個人・女子個人)  
第79回県高校総体 県大会出場  
(女子団体)  
第79回県高校総体
- 剣道部**  
(男子団体)  
第79回県高校総体 尾張支部予選会 優勝(Aチーム)、準優勝(Cチーム) 県大会出場
- 陸上部**  
(男子団体)  
第79回県高校総体 尾張支部予選会 第3位  
2000m、4000m、8000m、15000m、1100mH、4000mH、3000m障害、4×1000mR、4×4000mR、走幅跳、三段跳  
以上県大会出場  
(女子)  
同上大会優勝含め4名県大会出場
- ソフトテニス**  
(女子団体)  
第79回県高校総体 尾張支部予選会 優勝  
4000m、8000m、15000m、3000m走幅跳、やり投  
以上県大会出場
- 卓球部**  
(男子団体)  
第79回県高校総体 尾張支部予選会 準優勝  
ダブルス2組、シングルス2組  
(男子個人)  
第77回中部日本卓球選手権大会 ジュニアの部 本選(中部大会)出場  
第54回後藤杯卓球選手権大会(名古屋オーブン) 本選(全国大会)出場  
(女子団体)  
第79回県高校総体 尾張支部予選会 学校対抗 第3位  
(女子個人)  
シングルス3名、ダブルス 県大会出場
- バレーボール(男子)**  
第79回県高校総体 尾張支部予選会 第5位 県大会出場  
**○ラグビー部**  
第79回県高校総体 尾張支部予選会 準優勝
- サッカー部**  
第79回県高校総体 尾張支部予選会 準優勝(県大会出場)
- 体操部**  
(男子団体)  
第79回県高校総体 尾張支部予選会男子チーム選手権 優勝  
県大会 男子チーム選手権 第5位  
(男子個人)  
同大会優勝含め4名県大会出場
- 吹奏楽部**  
2025年度愛知県吹奏楽コンクール県大会 銀賞
- 情報**  
情報処理学会 第7回 高中生 研究賞 奨励賞 2名
- 将棋**  
第61回全国高校将棋選手権大会 愛知県大会 女子個人の部 優勝
- フッシャントイック**  
2024年度名古屋短期大学 保育科創作絵本コンクール 優秀賞
- 水泳部**  
(男子団体)  
第79回県高校総体 尾張支部予選会 第2位  
(男子個人)  
男子50m自由形、男子100m自由形、男子100m背泳ぎ、男子100m平泳ぎ、男子200m背泳ぎ、男子100m平泳ぎ(大会新)、男子4×100mフリーリレー、男子4×200mフリーリレー、男子4×100mメドレーリレー  
以上 県大会出場  
県大会 男子100m平泳ぎ 第5位、男子4×100mフリーリレー第7位、男子4×100mメドレーリレー第7位  
以上 東海大会出場  
(女子個人)  
女子100m平泳ぎ、女子200m平泳ぎ、女子200mバタフライ 第4位  
以上 県大会出場
- 文芸部**  
第49回全国高等学校総合文化祭 香川大会 文芸専門部 散文部門 参加
- 尾張総体総合**  
第79回県高校総体 尾張支部 女子総合 優勝  
第79回県高校総体 尾張支部 男子総合 優勝
- 速報!**  
水泳部 東海大会結果  
男子4×100mメドレーリレー 全体15位  
男子4×100mフリーリレー 全体18位  
男子100m平泳ぎ 全体14位
- 【定時制】**  
(第76回愛知県高等学校定時制通信制総合体育大会)
- 柔道部**  
(女子個人)  
52kg級優勝 (全国定通総体出場)  
63kg級優勝 (東海大会出場)  
63kg級2位 (全国定通総体出場)  
(東海大会出場) 五十嵐 優愛  
岩井 智鶴  
中島 瑠海
- バドミントン部**  
男子シングルス3位 則竹 佑真  
(全国定通総体出場)  
(東海大会出場)

# 総会

## 令和7年度総会

毎年恒例となっている一宮高等学校同窓会総会は、今年第107回目を迎えます。今年は11月3日(月)に一宮駅のiビル7階シビックホールにおいて開催いたします。一宮高等学校では、毎年還暦を迎える学年が卒業生全体の同窓会総会を取り仕切ることが慣例となっていますが、今年は私たち第36回生が幹事を務めさせていただきます。私たち第36回生が一宮高等学校を卒業したのは昭和59年春でしたので、早いもので41年の歳月が流れました。

本同窓会総会も、令和2年に端を発した新型コロナウイルスの蔓延により、一時は総会の運営自体に苦労された時期もあつたと伺っていますが、こうしてまた歴代の卒業生・同窓生が一堂に会して旧交を深める機会が持てることに感謝するとともに、私たち幹事学年も会を運営する機会をいただいたことを光栄に思います。当日は、まず定例の総会を開催いたします。その後は毎年恒例となっている講演会を今年も企画いたしました。今回の講師は、幹事学年である第36回生の飛田秀樹氏に依頼しています。飛田氏は現在、名古屋市立大学医学研究科教授及び学長補佐の要職に就いておりますが、「Do you

## 令和7年度 同窓会総会

日 時 令和7年11月3日(月/祝日)  
 受付 10時00分~10時30分  
 総会 10時30分~11時10分  
 講演会 11時10分~12時00分  
 懇親会 12時30分~14時00分

会 場 尾張一宮駅前ビル(i-ビル7階シビックホール)  
 ☎0586-28-9153  
 尾張一宮駅・名鉄一宮駅改札口より東へ徒歩1分

会 費 総会・講演会：無料  
 懇親会：8,000円

申込・締切 懇親会へのご参加を希望される方は、同封の払込票にて10月10日(金)までにご入金ください。  
 入金確認をもって出席確定とさせていただきます。  
 (また、会場定員を超える場合は入金日の先着順とさせていただきますので、早目のご入金をお願いいたします)

また、上記会費とは別に同窓会運営費2口2,000円以上の振込についてもよろしく願いいたします。

### <一宮高校 第36回生(昭和59年3月卒業生)の皆さまへ>

懇親会終了後、引き続き第36回生の学年同窓会を開催します。  
 同封のご案内(黄色A4判)をご参照のうえ、ぜひご参加ください。

問い合わせ先：学年幹事 柴垣幹生 松本忠司 飛田秀樹 平林京子  
 メールアドレス ichinomiya036@gmail.com

脳?」発育期の環境による「ごころ」の形成メカニズム」と題して、長年研究に携わってきた脳生理学の分野から、興味深いお話を聞かせていただけるものと思います。そして、講演会の後は全体での懇親会を予定しています。在学中にお世話になった恩師の先生方にもお越しいただけますので、和やかな雰囲気の中、大いに旧交を深めていただけたらと思います。

さらに、全体での懇親会の後は、

幹事学年の第36回生のみでの学年同窓会も予定しています。私たち第36回生はこれまで、平成23年、平成24年、平成27年の3回にわたって学年同窓会を開催してまいりました。55歳を迎える年にも開催を予定していましたが、その頃は新型コロナウイルスの蔓延により開催を見合わせざるを得ませんでしたので、今回の学年同窓会はおおよそ10年ぶりの開催となります。

今回の同窓会総会も、幹事一同

精いっぱい準備を進めてまいりますので、お時間が許す限り冒頭の総会からご参加いただき、旧交を深めていただけたらと思っております。盛大な集まりとなりますよう、お誘いあわせのうえ多くの皆様のご来場を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

幹事学年 高36回生幹事一同

### 令和7年度 同窓会総会 企画講演

講演の内容

「Do you 脳?

~発育期の環境による

“ごころ”の形成メカニズム~」



講師：飛田 秀樹

(名古屋市立大学医学研究科教授・学長補佐・副研究科長)

#### 略歴

昭和59年3月 愛知県立一宮高等学校 卒業(高第36回生)  
 平成3年3月 名古屋市立大学医学部 卒業  
 平成7年3月 名古屋市立大学医学研究科 修了  
 平成7年12月 シカゴ大学 留学  
 平成9年12月 名古屋市立大学 助教  
 平成14年4月 同 講師  
 平成15年6月 同 准教授  
 平成21年2月~ 同 教授  
 平成29年4月~ 同 医学研究科 副研究科長  
 令和2年4月~ 名古屋市立大学 学長補佐